

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和4年度) 2022年

9	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	9	6	火	13:00	16:00	藤金市民の森	10名
活動名称						森の中で自然体験学習(藤小三年生) 報告者:牛島	

1、活動目的

藤小学校より自然体験学習を依頼され、里山サポートのボランティア活動内容を課外授業として紹介することにより、森の大切さや環境、自然保護に関心を持ってもらう。  
市民の森の整備活動の内容を知る。清掃活動に参加し体験する  
ゴミ拾いを兼ね、森の材料による作品作りの材料を採集する。

2、活動内容ほか

開会挨拶とプログラムの紹介を行い、森を整備する道具、機械類の実演を見学してもらう。

- ・草刈り鎌、刈払機、ハンマーナイフモア、ウッドチップパー。
- ・枯木、倒木の除去(チェーンソーによる伐採の方法をパネルで説明後、伐倒、)
- ・年輪しらべ

伐採した、倒木の年輪を確認。木の年齢、成長変化の要因など説明。

(ア)年輪から読み取れる成長したときのできごと(コピー配布)

- ・森の清掃活動としてゴミ拾いと合わせて、材料探しをする。  
人間の出すゴミ、自然のゴミの違いを考える。
- ・森の作品材料探し  
森に落ちているもので、興味のあるもの(枝、根、樹皮、葉、草、種等)あつめる。  
(イ)持ち帰り、作品をつくり、次回展示予定。

3、評価

市民の森の整備や清掃活動の内容を知って、ボランティアの人から学ぶ事で環境保護や自然に関心を持つようになった。年輪から読み取れる成長したときの出来が理解できた。

4、課題

きれいな森に維持管理をすることがSDGsに貢献しているということを理解させたい。

<里山参加会員>

小嶋、石川、鈴木寿、牛島、杉山、柳川、小澤邦、小沼、佐野英、(撮影)吉井、

<活動写真>





野外学習・藤小三年生（2022/9/6）

- ・市民の森の整備機械類の実演、枯れ木の伐採見学。
- ・森に落ちているものや竹を使って作品を作ろう。

